

令和2年度第1回
江差町総合戦略検証委員会
可視化（見える化）資料

令和2年10月
江差町

目 次

1 基本目標① 「江差ブランドづくりで仕事をつくる」

一×二×三業懇話会の開催	2
江差町まちづくり推進交付金創設（地域ブランド開発等支援）	3
ふるさと納税特典品の充実	3
ぷらっと江差の充実	4
農地流動化促進補助事業	5
栽培漁業推進事業	5～6
江差産ニシン活用促進対策事業	6
ブリ等の活〆技術確立のための水産物高付加価値化対策支援	7
ワカメ・コンブ・ホヤ活用試験事業	7

2 基本目標② 「江差文化体験交流で仕事をつくる」

北海道江差観光みらい機構の運営強化、体験観光メニューの構築	8
海・山・川!!!障がい者が満喫するバリアフリーレジャーと地域づくり の相互連携事業（地方創生推進交付金事業）	9
「えさし」同名自治体連携事業	9
江差マリンスポーツ交流センターの整備（地方創生拠点整備交付金事業）	10
江差町まちづくり推進交付金創設（宿泊施設整備促進事業）	10
イベント民泊（江差追分全国大会）実証実験	11
観光施設の多言語観光案内版・誘導表示の作成	12

3 基本目標③ 「江差っ子チャレンジ支援で仕事をつくる」

江差町企業立地の促進及び雇用の奨励に関する条例に基づく雇用奨励助成	13
江差町まちづくり推進交付金創設（空き店舗等再生促進事業）	13
江差こども未来応援プロジェクト	14
住宅リフォーム助成	15
学校給食費助成（小中学校）	15
幼児教育・保育の無償化（保育園）	16
子ども医療費の助成	17～18

(いちにのさんぎょう)

一×二×三業懇話会の活動概要について

江差町では、平成28年度より農業・林業・水産業などの一次産業、製造業などの二次産業、商業・サービス業などの三次産業の異業種間交流を図り、新たな商品開発や農林漁業体験メニューづくりなどを検討するため、各産業のメンバーで構成する「一×二×三業懇話会」を開催し、さまざまな取組を進めてきました。

令和元年度からは、江差町の銘菓「五勝手屋羊羹」の復刻版をつくるプロジェクトを進めています。

[令和元年度の取組]

●五勝手屋復刻羊羹製造プロジェクト

- ・原料として使われていた紅金時豆は現在生産されている豆ではないため、道立農業試験場に遺伝子保存されている種子を提供していただき使用
- ・紅金時豆などの栽培を実施（播種～収穫、殻むき作業）
→次年度の復刻羊羹づくりに向けて種子として活用

◆播種作業の様子



◆殻むき作業の様子



①



【イチゴマスカルーネ】

【事業年度】平成30年度 【申請者】(有)グリーンネット恵
 【交付対象事業費】729,991円
 【交付決定額】486,000円 (2/3以内)

【事業の効果】

江差産いちごを活用した新商品開発により、江差町の新たな土産品や特産品、ふるさと納税お礼品として充実が図られ「江差産いちご」の高付加価値化、販路拡大、地域活性化、地域PRにつながりました。

②



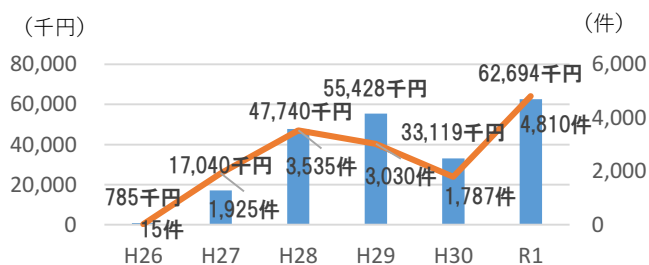
【事業年度】平成30年度 【申請者】えさし水土里の会
 【交付対象事業費】620,568円
 【交付決定額】412,000円 (2/3以内)

【事業の効果】

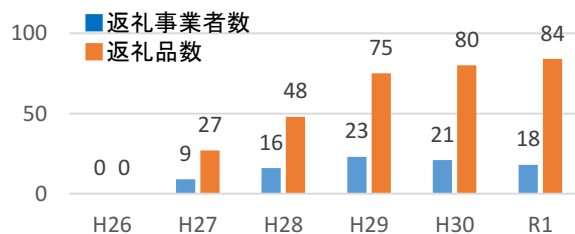
ふるさと納税返礼品送付用として、これまで市販されているカートンを利用していたが、材質が弱いため送付時等、品質確保に課題がありました。

今回、江差産アスパラガスとして独自のデザイン・パッケージと、あわせて丈夫なカートンを製作したことにより品質確保と、町のPR及び農業の活性化につながりました。

寄附金額及び寄附件数の推移



返礼事業者数及び返礼品数



令和元年度のふるさと納税は、次の4分野・11事業に27,400千円使われました。

また、ふるさと納税を積み立てた「ふるさと応援基金」の現在高は、50,068千円となっております。

①歴史・文化・観光の振興に資する事業

【5,100千円】

②子どもたちの未来を育む事業

【4,900千円】

③町民の地域活動を支援する事業

【2,600千円】

④その他まちづくりの推進に寄与する事業

【14,800千円】



【無形民俗文化財保存伝承対策】



江差の味の新メニュー（秋～春限定）
左）江差ニンジンまん
中）江差カニまんプレミアム
右）江差カニクリームまん

【取り組み成果】

- 専門家指導による店舗づくりで来客増を図りました。
- ☞ 導線形成による回遊率向上
- 新商品開発及びイベント実施による認知度向上に努めました。
- 地場産品取り扱いによる地域との連携強化を進めました。

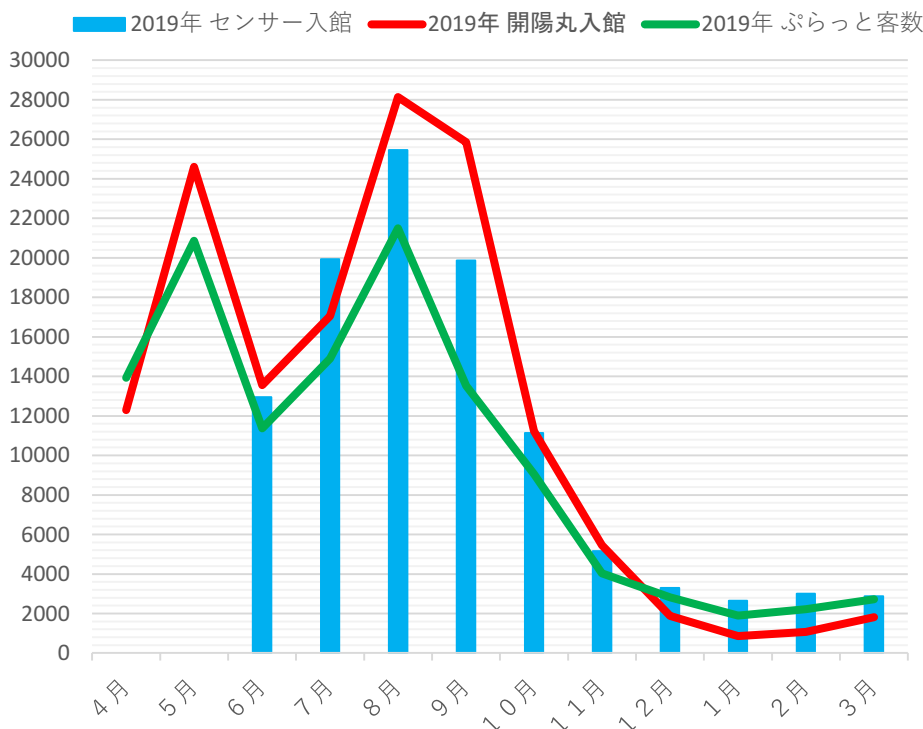


施設に掲示しているぷらっと江差PRチラシ

【施設入館者等の状況】

R1(2019)開陽丸及びぷらっと江差入込状況

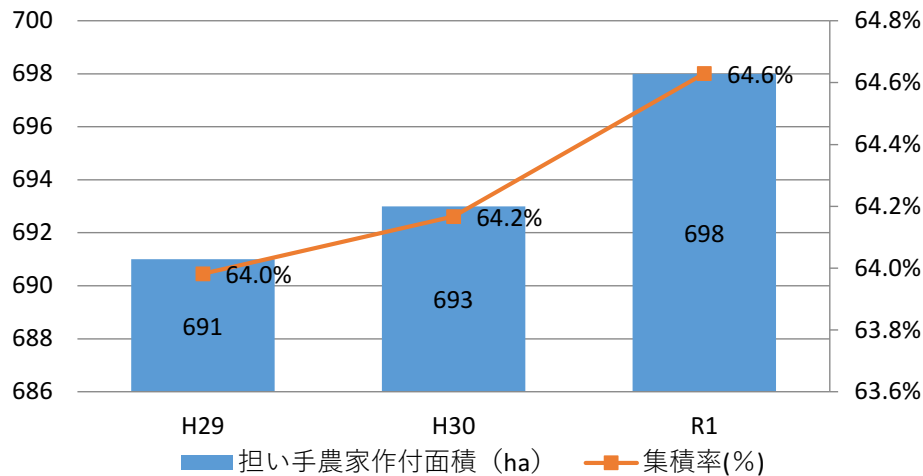
(単位:人)



R1年(2019)		
センサー入館	開陽丸入館	ぷらっと客数
	1639	1857
	3280	2781
12943	1808	1516
19936	2274	1988
25449	3752	2865
19862	3447	1803
11136	1497	1207
5153	728	537
3301	251	375
2645	115	253
3003	143	296
2880	241	362

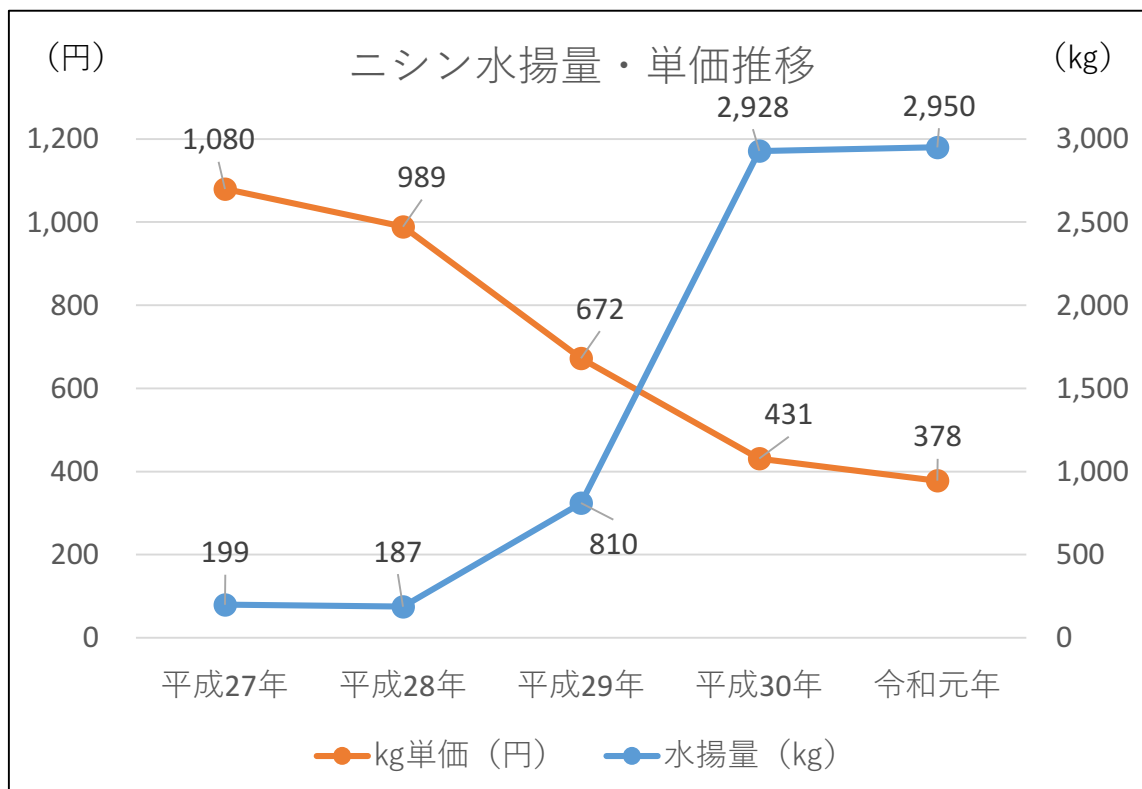
担い手への集積状況

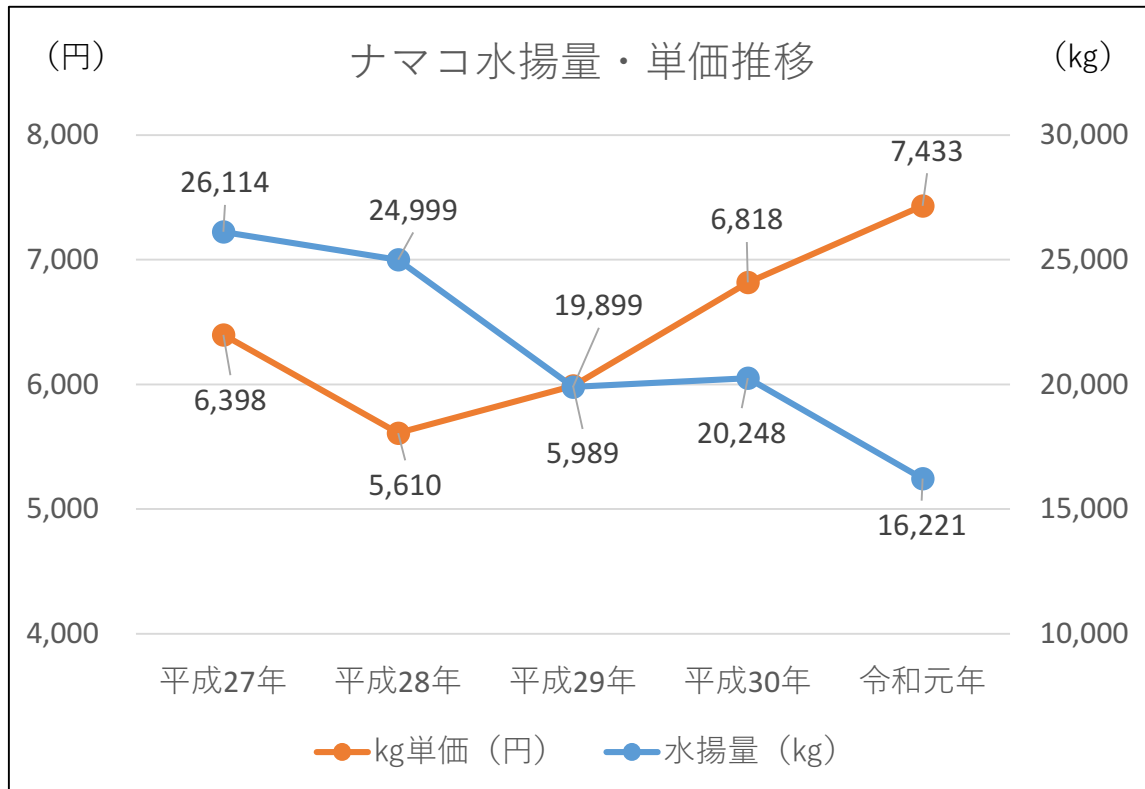
	H29	H30	R1
町内全体の耕作面積 (ha)	1,080	1,080	1,080
担い手農家作付面積 (ha)	691	693	698
集積率 (%)	64.0%	64.2%	64.6%



※1 担い手とは、経営状況などから今後において地域の中心的農家となると位置づけられている農業者をいいます。

※2 この表には、賃貸借をしていた田を買入れた場合の面積は入っておりませんので、年度ごと成果調査シートの数値とは異なります。





江差産ニシン活用促進対策事業

基本目標①
事業No.9

江差町観光まちづくり協議会が江差産ニシンを冷凍保管・管理し、町内の飲食店や町のイベント等に供給できる体制を整備したことで、様々な用途への活用が促進され、江差産ニシンの地産地消が図られました。



糠ニシンや甘露煮に加工

平成30年産
ニシン確保数

1,500kg

活用件数

13件



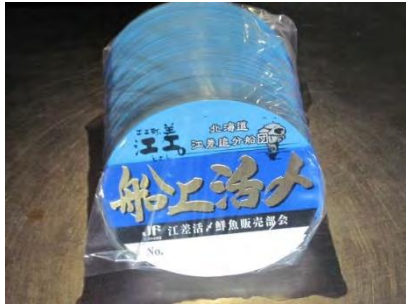
道教大函館校と法華寺通り商店街の
共催事業「ニシンチャレンジカップ」



イベントにおいて、ニシン料理を提供

鮮魚等の高鮮度出荷販売及び魚価の向上、品質向上を図る目的として、平成28年5月に江差活〆鮮魚販売部会を設立し、江差ブランドを確立するため、統一製品ラベル等を製作

◆ラベル



◆製品を入れる袋



◆比較方法

サクラマスを活〆したキロ単価と活〆していないキロ単価を比較 ※キズものは除外

項目	サクラマス 活〆出荷	サクラマス 出荷
数量 (kg)	4, 572.7	12, 286.8
金額 (円：税込)	4, 203, 979	8, 198, 140
単価 (円)	919	667

⇒ 1. 37倍の単価向上

～ ひやま漁協資料より ～

ワカメ・コンブ・ホヤ活用試験事業

基本目標①
事業No.11

未利用・低利用資源有効活用対策として、資源の有効活用と養殖業の可能性検討のため試験を行った。

◆ホヤ



種苗糸をロープに
巻き付け垂下



約2年



出荷サイズ (約4年)
※2m養成網3本で約80kgの収穫
(試験事業のため出荷せず)

◆コンブ



種苗糸をロープに挟み込み垂下



出荷サイズ (約6ヵ月)

◆ワカメ・コンブ スレや芽落ちにより製品化出来ず、ウニの餌料として活用

本格稼働初年度として、町や観光まちづくり協議会（日本遺産魅力発信推進事業）の事業を受託し体制づくりの強化を図ったほか、将来に向けた資格取得等の環境整備に努めました。

【資格取得状況】

- ・日本版DMO候補法人登録
- ・第3種旅行業取得
- ・JNTO外国人観光案内所(カゴリー-1) 認定

【自主事業】

- ・タイ人スタディートリップ受入
- ・こうれんザンギづくり実証



タイ人スタディートリップ受入



こうれんザンギづくり実証
(体験コンテンツ構築)



ニシンロケットづくり教室
(日本遺産観光PR)

【体験コンテンツ構築メニュー】

No	コンテンツ	対 象	プレイヤー	体験料
1	そば打ち	団体	そば辰ゆがの会	人数清算
2	そば打ち	個人	手打ちそば和味	人数清算
3	茶道宗偏流	団体	山本宗智	人数清算
4	茶道裏千家	団体	小滝宗志	人数清算
5	抹茶たて	個人	茶房せき川	1,000円
6	着物散策	個人／団体	髪結いや	2,000円
7	ハンコ作り	個人／団体	旧檜山爾志郡役所	500円
8	町歩き	個人／団体	江差観光ガイド協会	2,000円
9	お守り作り	個人／団体	臈月蔵チャミセ	1,000円
10	手ぬぐい作り	個人／団体	臈月蔵チャミセ	500円
11	手ぶらdeバーベキュー	個人／団体	ぷらっと江差	3,300円～
12	カニ釣り (道具は100円)	個人／団体	ぷらっと江差	無料
13	マリンスポーツ	個人／団体	田畑亮子	3,500円
14	江差追分 (入館料で体験)	個人／団体	江差追分会	無料



ハンコ作り (イメージ)



着物散策



茶道宗偏流

令和元年度に構築した体験メニュー。これまで課題であった「誰が指導」を明確化し、体験希望者に迅速対応できる体制を整備。また、インバウンド旅行者向けに、着物散策では髪の手入れもオプションでメニュー化したり、茶道体験と組み合わせたりとの要望に応じているほか、ハンコづくりはハンコ袋と朱肉のセットを整備するなど、ブラッシュアップを図りました。

バリアフリーレジャー用品貸出実績（単位：円、件、台）

品名	貸出料 (R1年度より)		H28	H29	H30	R1	保有 台数
	2時間	4時間					
電動カート	500	1,000	1	5	1	0	3
電動アシスト付 自転車			28	35	94	34	5
車椅子	200	500	4	15	10	12	1
シルバーカー			0	2	0	1	1
ベビーカー			0	1	0	2	1
合計			33	58	105	49	



- 貸出・返却施設 江差観光情報総合案内所 ※開陽丸管理棟内及び開陽丸記念館入館時のご利用は無償
- ご利用期間 ○営業期間 4月1日～10月31日 ○営業時間 9時00分～16時30分

バリアフリー対応ノウハウ取得セミナー参加

- ①観光介助士資格を取得（初級2名、中級1名）
- ②参加者の声
お客様の不便さを理解しお客様に寄り添った、少しでも満足
のいくご案内を心掛けたいと思いました。



「えさし」同名自治体連携事業

<コンセプト>

道内に所在する同名自治体“えさし”を逆手にとって、互いのポテンシャルを活用した各種の連携事業を展開し、知名度のアップはもとより、地域と地域を結ぶローカル経済交流の形成を図り、観光や産業の振興等、地域の活性化に資するものとします。

「互いに尊重し、高めあう関係から生まれる地域の力」

<取組内容（平成28～令和元年度）>

- ・ポールスター札幌前で物販事業を中心に同名自治体連携事業を実施、利用しているお客さんからも認知度が高まり好評を得ています。
- ・枝幸町のイベント「よくばりフェスタ」にも参加、民間団体（藤谷漁業部）も同行し交流を図りました。
- ・スポーツイベント交流事業として「江差フェニックス野球少年団」を枝幸町へ派遣、地元野球少年団と交流を図りました。



<販売実績（令和元年度）>

あれこれマルシェ（6月）	9品	201,490円
よくばりフェスタ	7品	110,100円
あれこれマルシェ（12月）	19品	207,908円
計	35品	519,498円



【事業目的】

江差港マリーナ艇庫をマリンスポーツ等のアクティビティの拠点施設としてリノベーションし、マリンアクティビティを商品化することで新たな体験メニューの構築を図ります。また、マリーナ施設利用者の宿泊を可能な施設とすることで、海洋スポーツ等の合宿誘致等につなげ交流人口の拡大を図ります。

【活用実績】

宿泊では、ヨット大会出場者1名の利用にとどまりました。また、産業まつりでは「フォトフレームデコレーション体験」会場として活用、10名の利用がありました。

今後は、体験メニューと絡めるなどマリンスポーツ交流センターの積極的活用に努めてまいります。

【実施内容】

◎総事業費：59,152千円

《事業実績：拠点整備》

◆実施設計委託 4,590千円

◆工事監理委託 1,566千円

◆工事請負費 48,438千円

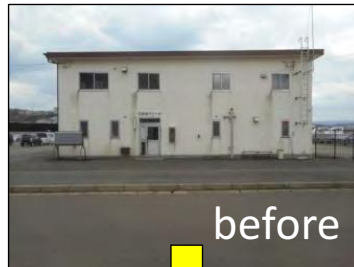
◆建築確認申請手数料 28千円

《事業実績：効果促進》

マリンフェスタ開催 747千円

備品購入（マリンジェット・

救助用ボートほか） 3,783千円



before



after



事業の目的

観光を基軸としたまちづくりを進める当町にあって、宿泊施設の整備は喫緊の課題です。

新たな簡易宿泊施設として、来訪者の選択肢を広げることは、個々のケースに応じた宿泊サービスの提供が可能となり、江差町の魅力の向上につながります。

また、地域への貢献も必要不可欠なものと考え、施設内に多目的スペースを確保し、新たなサービス空間の提供を図ることで、宿泊者の交流はもとより、地域の集会施設としての活用や災害時の一次避難所等への利用も期待され、地域との共存に努めます。

施設の概要

- ①実施主体：花工房株式会社
(江差町字橋本町51番地)
- ②営業形態：簡易宿所
- ③住所：江差町字橋本町15-2・16・17・18
・23-2
- ④延べ床面積：423.36㎡
(うち宿泊施設部分279.90㎡)
- ⑤客室数：1階（2室）・2階（4室）
- ⑥付帯設備：多目的室・共同トイレ
・シャワー室・調理室完備
- ⑦総事業費：125,666千円
- ⑧まちづくり推進交付金：55,400千円
- ⑨食事の提供：なし

【イベント民泊について】

- 江差追分全国大会時に生じる宿泊施設不足について、一部ではあるが解消につながりました。また、本事業開始時から継続して申し込む方もおり、施設所有者と旅行者の交流が進むなど、関係人口増加につながっています。
- 運営については、当初はDMO推進員が担当し、ノウハウや施設所有者及び利用者ともつながりができたことから、現在は北海道江差観光みらい機構（DMO推進員を採用）で運用しています。

【利用状況】

	H29	H30	R1
貸施設数（件）	15	14	15
宿泊実数（人）	75	68	60
宿泊延べ数（人）	194	156	149



【利用者の声】

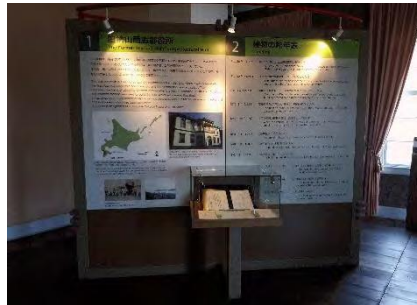
- ・色々細かい点まで気づかいをしていただき大変ありがたいです。また利用したいと思います。
- ・毎年お世話になっております。子供もまだ小さいので自由に過ごすことができ、とても楽です。
- ・わかりやすい説明と現地までの案内があったため、初めて施設を利用する私どもは助かりました。
- ・今回の施設には大変満足しており、できるならば次回も利用したいと思います。
- ・朝夕食の買い出しが必要なため、冷めた食事しかできなかった。安い電子レンジがあると便利。

【地域別宿泊施設所在地（R1）】

地域	件数	地域	件数
愛宕町	3	本 町	2
豊川町	1	上野町	1
中歌町	3	茂尻町	2
姥神町	1	新地町	1
津花町	1	合 計	15

【多言語化について】

町内施設や観光案内看板について、英語での多言語化を図り、増加傾向にある外国人観光客等への受け入れ環境を整備しました。



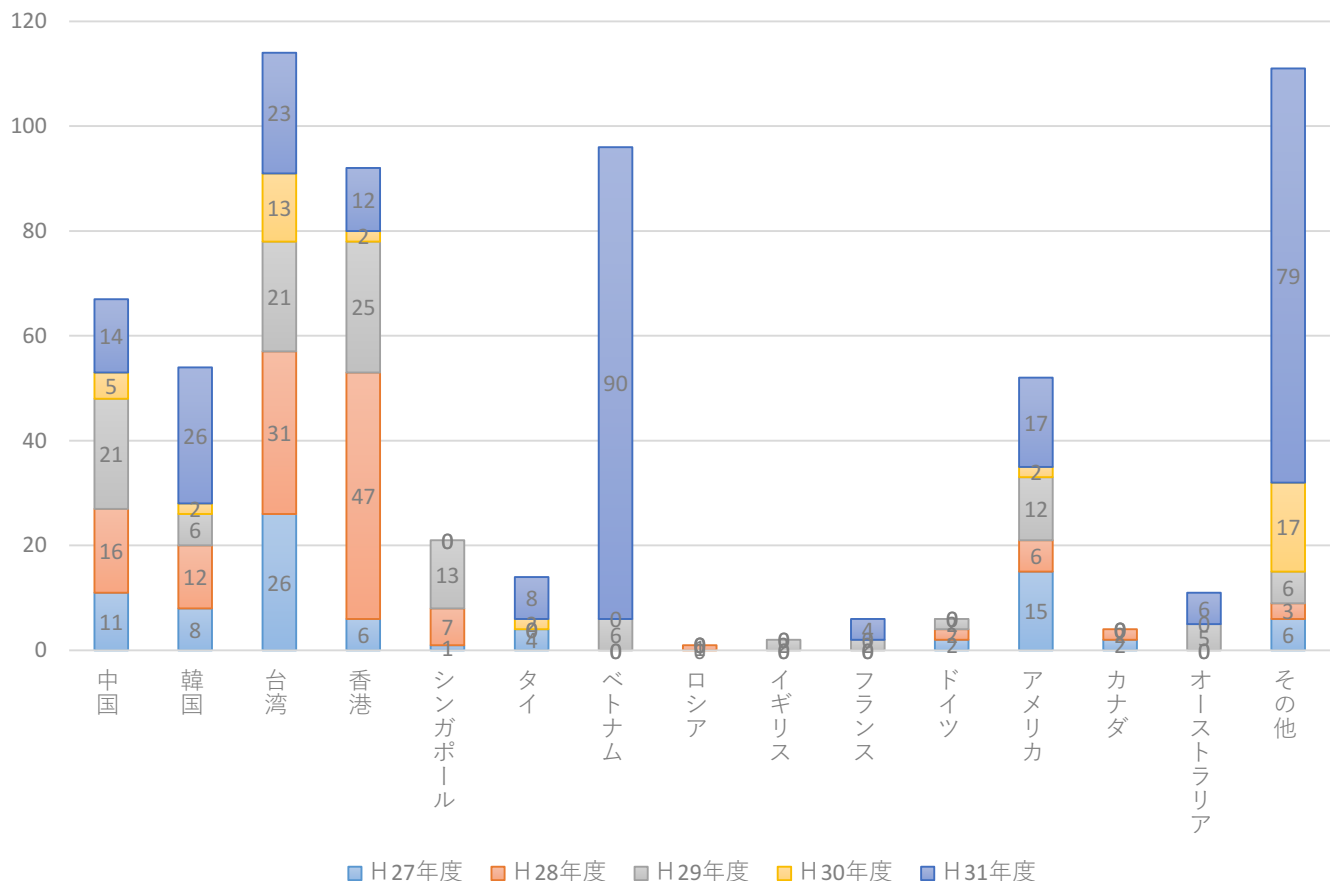
施設多言語状況写真（上・左）
と訪日外国人宿泊客数国別内訳
（下表）

（単位：人）

年度	宿泊人数	中国	韓国	台湾	香港	シンガポール	タイ	ベトナム	ロシア	イギリス	フランス	ドイツ	アメリカ	カナダ	オーストラリア	その他	計
H27年度	客数	11	8	26	6	1	4	0	0	0	0	2	15	2	0	6	81
	客延数	11	8	26	6	1	4	0	0	0	0	2	25	2	0	6	91
H28年度	客数	16	12	31	47	7	0	0	1	0	0	2	6	2	0	3	127
	客延数	16	12	31	55	7	0	0	1	0	0	4	10	2	0	3	141
H29年度	客数	21	6	21	25	13	0	6	0	2	2	2	12	0	5	6	121
	客延数	21	6	21	25	13	0	6	0	2	2	2	12	0	5	6	121
H30年度	客数	5	2	13	2	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	17	43
	客延数	5	2	13	2	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	17	43
H31年度	客数	14	26	23	12	0	8	90	0	0	4	0	17	0	6	79	279
	客延数	14	26	23	14	0	8	90	0	0	4	0	17	0	6	81	283
国別計	客数	67	54	114	92	21	14	96	1	2	6	6	52	4	11	111	651
	客延数	67	54	114	102	21	14	96	1	2	6	8	66	4	11	113	679

【訪日外国人宿泊客数（推移）】

訪日外国人宿泊客数（国別／過去5年）





【立地企業紹介】

北清えさし株式会社（江差町字愛宕町18番地）

【投資額】 885,717,055円

【助成金】 1,200,000円

【雇用者数等】 2名

【事業内容】

管理型最終処分場（江差町字砂川419番外）を設置し、廃棄物最終処分、廃棄物リサイクル、解体工事を行っています。

【立地企業紹介】

株式会社アルファニーズ ※ a u ショップ江差（江差町字柳崎町207番地）

【投資額】 13,219,200円

【助成金】 1,800,000円

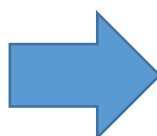
【雇用者数等】 3名

【事業内容】

移動通信機器の販売代理業



[before]



[after]

【事業年度】平成30年度

【申請者】オフィスKAZUMI

【交付対象事業費】5,994,000円

【交付決定額】2,990,000円（1/2以内）

【事業の効果】

姥神町（かもめ島入口）にある遊休不動産を活用し、新たにコミュニティカフェを創業。

地域のコミュニティスペースを確保したことで、様々な世代が多様なチャンネルを用いて交流、地域の元気づくりの発信に大きく寄与しています。

また、江差追分道場として活用することにより、世代を問わず地域の宝である「江差追分」の普及・伝承につながっています。

更には、町内の空き店舗を有効に活用したことで、北の江の島構想の入り口として相応しい環境を整えることができました。

【事業名】

ミライ☆リーダー育成『夢限』プロジェクト

【事業内容】

様々な分野で活躍するパイオニアや精通者、挑戦者等を町に招へいし、自らの体験や信念を通じた講演や交流の機会を設けることで、子ども達の 向上心とスキルアップを図り、将来にわたり地域をけん引する人材育成を図る。

【平成30年度】

- 事業名：「さかなクン」講演会
- 実施日：平成30年6月28日（木）
- 参加者：町内小中学校児童生徒ほか600名
- 会 場：江差町文化会館大ホール
- 事業費：2, 124千円



お魚クイズで手を挙げる児童



講演会での資料

【令和元年度】

- 事業名：でんじろうプロダクション「ジャイアン村上サイエンスショー」講演会
- 実施日：令和元年7月11日（木）
- 参加者：町内小中学校児童生徒ほか493名
- 会 場：江差町文化会館大ホール
- 事業費：1, 825千円

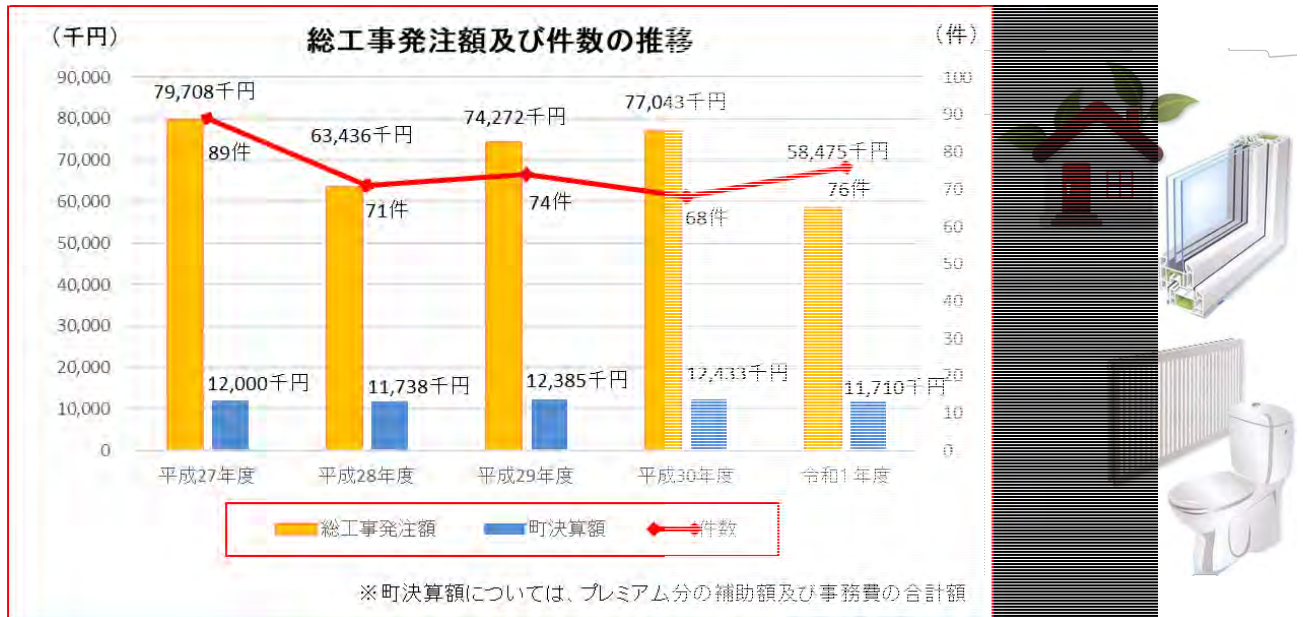


児童みんなで静電気を体験



空気の重さを実験

平成27年度より、住宅の長寿命化、省エネルギーの推進、住環境の向上等によるリフォーム市場の拡大や町内の住宅関連産業を中心とした地域経済の活性化を図ることを目的とし、プレミアム率25%の住宅リフォームに関する商品券の販売を開始。
【令和2年8月1日現在の取扱事業者数＝54事業者】



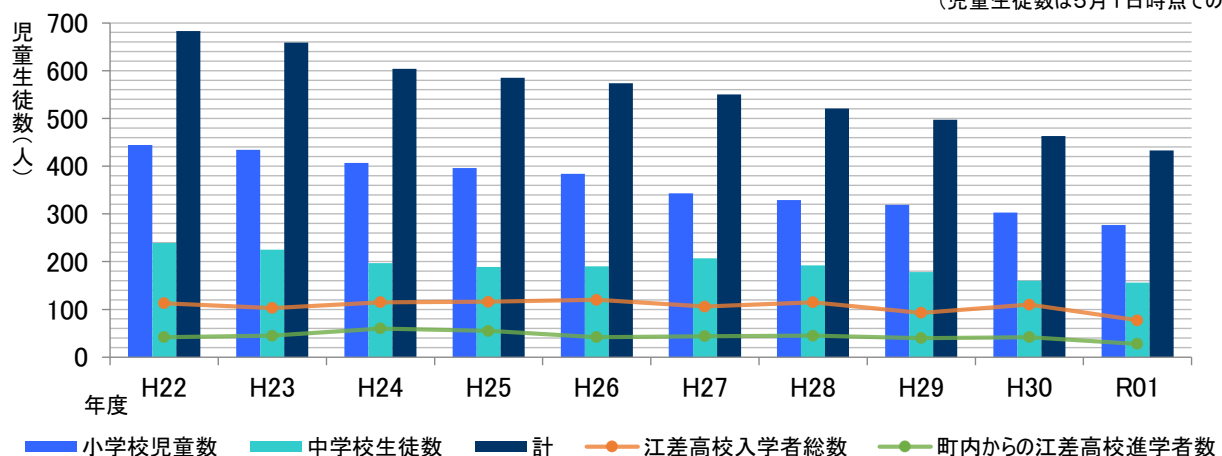
【主な工事実施例】 外装:屋根や外壁の張替え・塗替え 内装:床や壁や天井の新設・張替え(1部屋単位)
設備:トイレ改修工事 ほか <https://www.hokkaido-esashi.jp/modules/lifeinfo/content0790.html>

江 差 町 児 童 生 徒 数 の 推 移

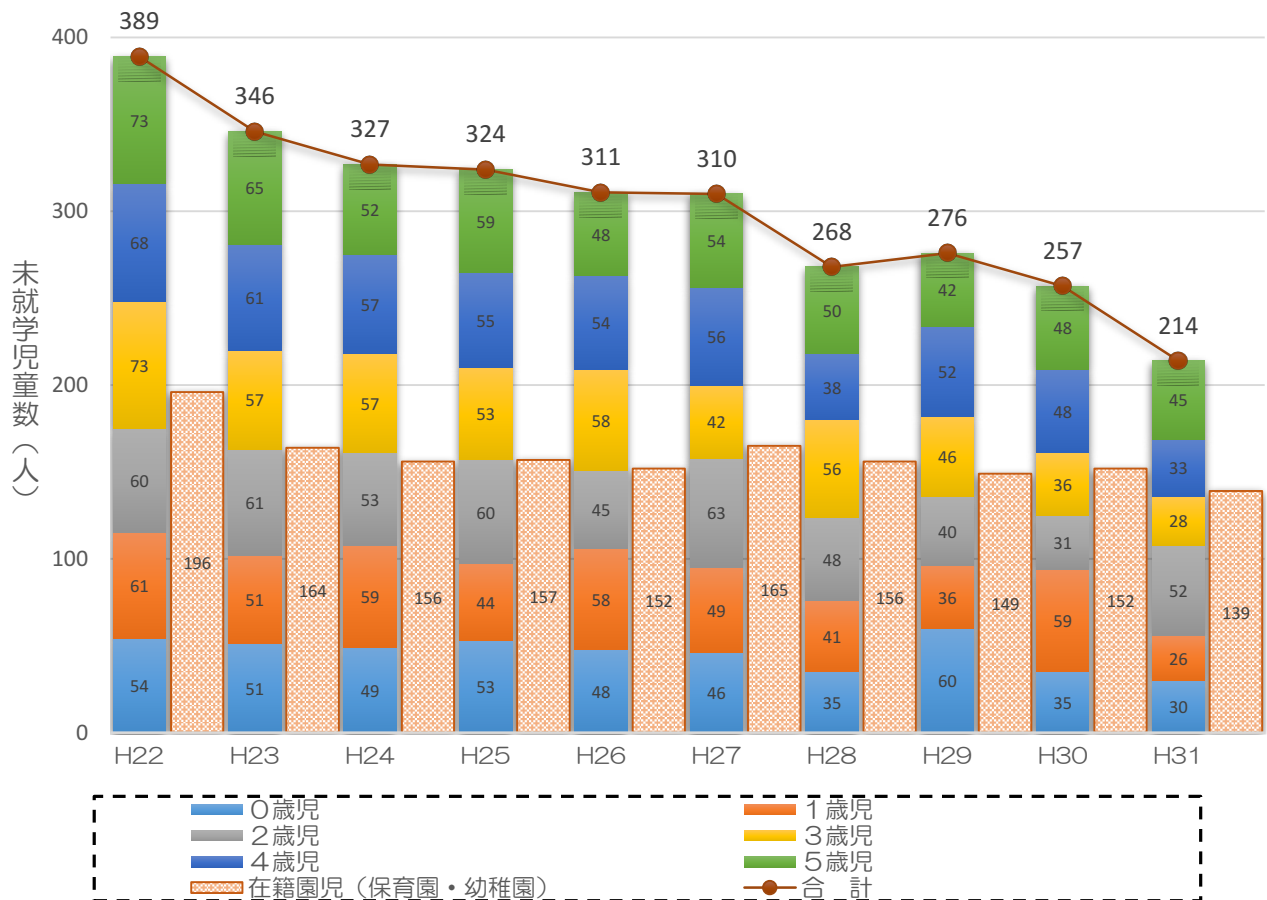
(単位:人)

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01
小 学 校 児 童 数	444	434	407	396	384	343	329	319	303	277
中 学 校 生 徒 数	239	225	197	189	190	207	192	178	160	156
計	683	659	604	585	574	550	521	497	463	433
江 差 高 校 入 学 者 総 数	113	103	115	116	120	106	115	93	110	77
町 内 か ら の 江 差 高 校 進 学 者 数	42	45	60	55	42	44	45	40	42	28

(児童生徒数は5月1日時点での人数)



江差町の未就学児童数過去10年間の推移

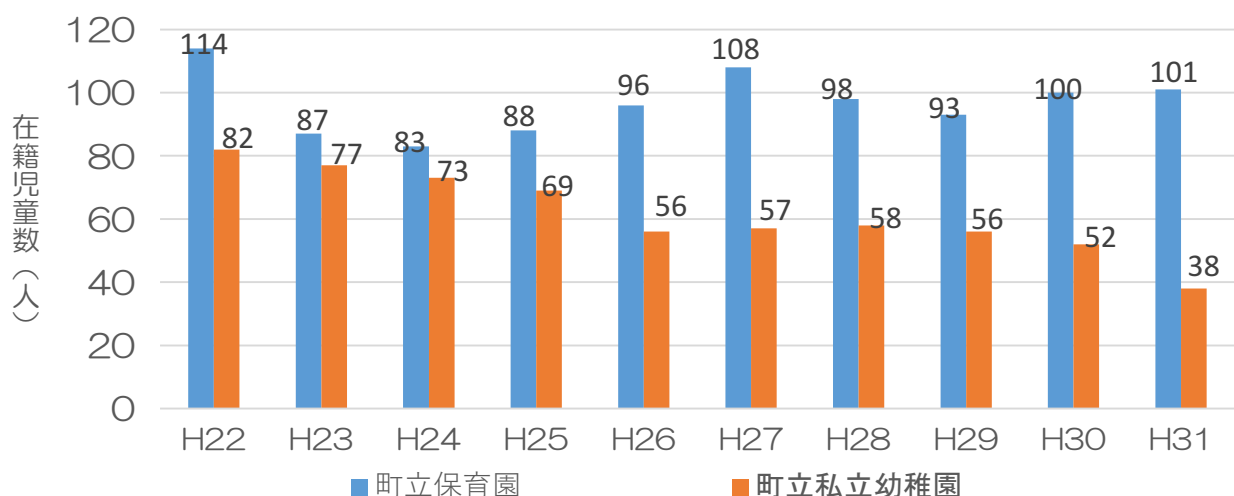


町立保育園、町立私立幼稚園の在籍児童数の過去10年間の推移

※単位：人(%)

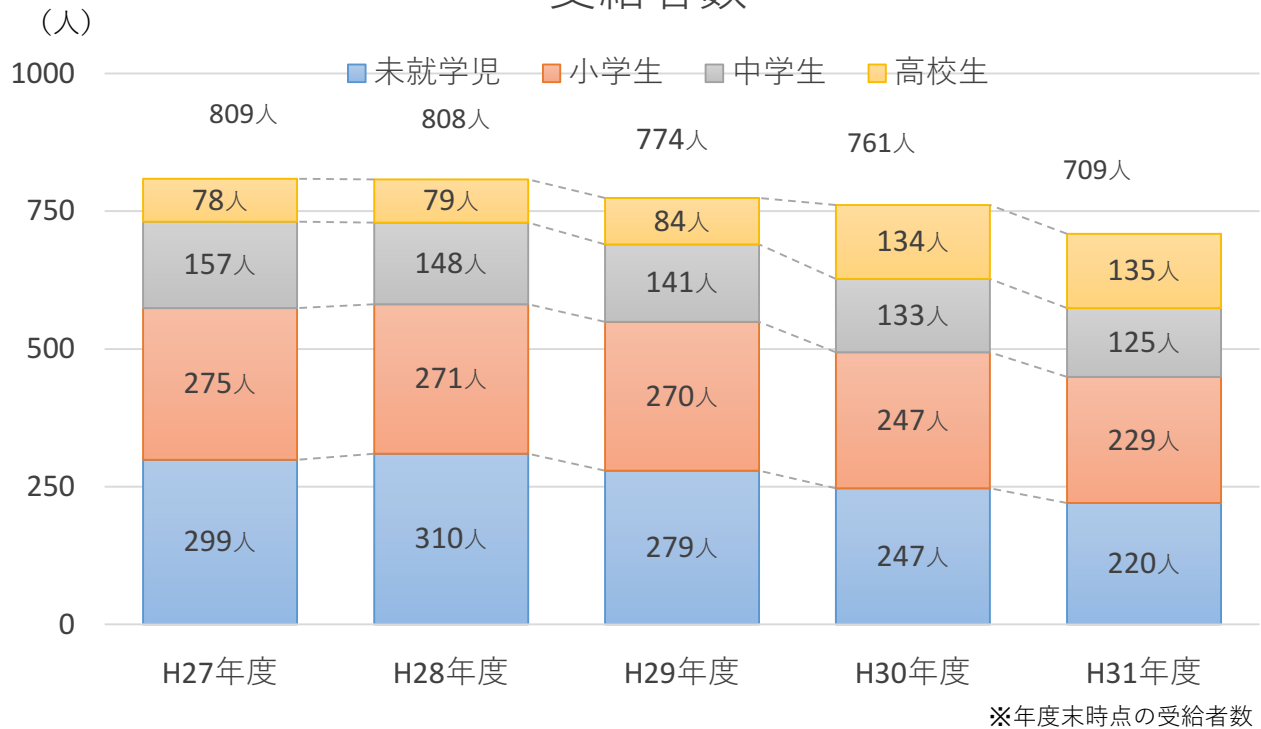
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
町立保育園	114 (29.3)	87 (25.1)	83 (25.4)	88 (27.2)	96 (30.9)	108 (34.8)	98 (36.6)	93 (33.7)	100 (38.9)	101 (47.2)
町立私立幼稚園	82 (21.1)	77 (22.3)	73 (22.3)	69 (21.3)	56 (18.0)	57 (18.4)	58 (21.6)	56 (20.3)	52 (20.2)	38 (17.8)
計	196 (50.4)	164 (47.4)	156 (47.7)	157 (48.5)	152 (48.9)	165 (53.2)	156 (58.2)	149 (54.0)	152 (59.1)	139 (65.0)

* 保育所は各年4月1日現在、幼稚園は各年5月1日現在
* 入所割合(%)は未就学児童数を基に算出した値

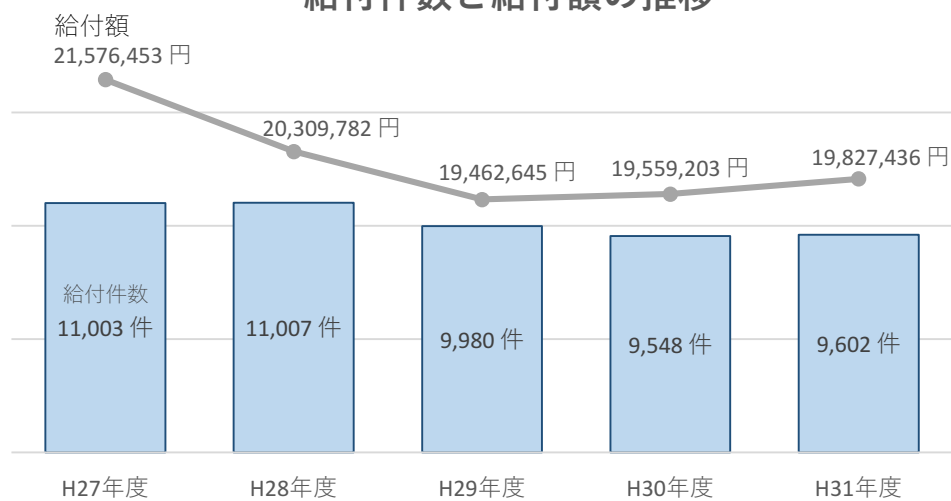


江差町は、子育て世代の負担軽減と、子どもの健やかな育成のため、0歳から18歳までの子どもの保険診療に係る医療費を全額助成しています。

受給者数



給付件数と給付額の推移



	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
実給付人数	892人	872人	842人	794人	785人
受給者延べ人数※1	965人	919人	895人	839人	833人
1人当たり件数※2	11.4件	12.0件	11.2件	11.4件	11.5件
1人当たり給付額※3	22,359円	22,100円	21,746円	23,313円	23,802円

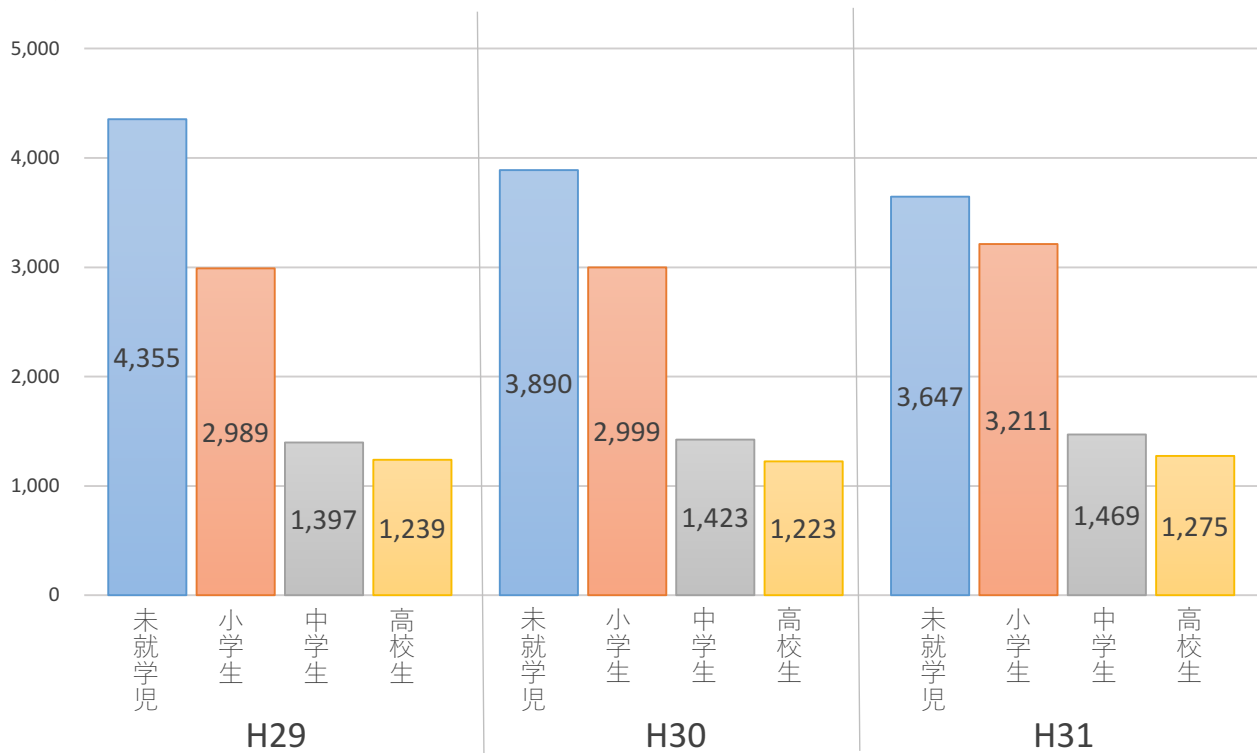
※1 年度途中で資格喪失した者を含む年間の受給者の延べ人数

※2 給付件数÷受給者延べ人数

※3 給付額÷受給者延べ人数

(件)

年齢区分別 給付件数



受診区分割合

(件数)

